

### 3調査特別委員会の主な提言内容

#### ◎避難地域等復興・創生対策特別委員会

- 浜通り地方の医療体制整備に当たり、医師不足を解消し医療人材を確保するため、インセンティブなどの更なる支援策を具体化し充実を図ること
- 復興・創生期間後も、避難地域の復興・再生に向けた施策等を推進するため、財源の確保と復興庁の役割を担う組織体制の継続を国に求めること
- 燃料デブリ取り出しに向け、安全監視体制を一層強化するとともに、トリチウム水の処理検討には、県民意見の十分な反映と慎重な判断を国や東京電力に求めること

#### ◎健康・文化スポーツ振興対策特別委員会

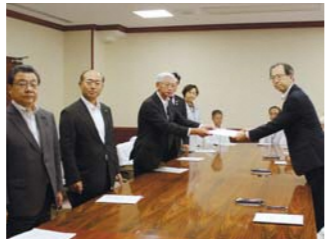
- 健康長寿の実現に向けて、長野県の先進的取組を参考とした健診受診の啓発や、減塩などの食環境整備を進めること
- 生涯スポーツ社会を推進するとともに、地域のきずなを取り戻す民俗芸能の復活を積極的に支援すること
- 復興五輪においては、県内の少年少女が何らかの形で参画し、元氣な福島の子供たちの姿を世界へ向けて発信すること

#### ◎交流人口拡大・過疎地域等振興対策特別委員会

- 国内外からのチャーター便の積極的なPR及び沖縄県との双方向での更なる交流の活性化に向けた取組を推進すること
- 学生の県内企業への就職に向けた取組の継続や職場の定着に向けた取組を行うこと
- 県サポート事業を活用した地域の若者による取組を支援すること



知事提言  
(健康・文化スポーツ振興対策特別委員会)



知事提言  
(交流人口拡大・過疎地域等振興対策特別委員会)



賀詞奉呈決議を全会一致で可決



知事提言  
(避難地域等復興・創生対策特別委員会)

7月4日の閉会日、避難地域等復興・創生対策(青木稔委員長、健康・文化スポーツ振興対策(満山喜一委員長、交流人口拡大・過疎地域等振興対策(高野光二委員長)の3特別委員会は委員長報告を行い、調査の終了について承認を受けた。閉会后、3委員会の正副委員長及び

## 3特別委員会が知事に政策を提言!

理事は、知事に対し調査結果を踏まえた提言を行った。

### 賀詞奉呈決議を全会一致で可決

6月19日の開会日、天皇陛下の御即位を祝う「天皇陛下の御

# 41件の議案を可決 75億9,800万円の補正予算など

### 補正予算の主な内容 総額75億9,800万円

#### Jヴィレッジ利活用促進事業 1億6,000万円

Jヴィレッジの全天候型練習場多目的化のための改修を実施

#### 福島インバウンド復興対策事業 2,721万円

今年から3年間にわたって開催される「日本博」を契機としたイベントを開催し、外国人観光客の更なる誘客を促進

#### 防災・減災、国土強靱化のための 国の交付金等活用事業 66億2,922万円

国の交付金等を活用した河川、道路及び農業用水利施設などの整備を促進

令和最初の6月定例会では、知事提出議案として、75億9,800万円に上る一般会計補正予算のほか、「福島県税条例等の一部を改正する条例」など条例に関する議案21件、その他の議案13件、議員提出議案として「天皇陛下の御即位に関する賀詞奉呈決議」や「信頼される政府統計を目指して更なる統計改革を求める意見書」など決議・意見書6件をそれぞれ可決・承認・同意しました。

また、避難地域等復興・創生対策、健康・文化スポーツ振興対策、交流人口拡大・過疎地域等振興対策の3特別委員会が調査報告書を取りまとめ、定例会閉会后、内堀雅知事に施策への反映を申し入れられました。



# 県議会ふくしま

6月定例会の概要(6/19〜7/4開催)

第78号

[企画・編集]  
福島県議会  
広報委員会

## 定例会での主な質疑

### 復興・創生期間後の県への

**質疑** 復興・創生期間終了後の県づくりにどのように取り組んでいくのか。

**答弁** 本県の復興・創生は長い道のりが続くことから切れ目なく、着実にその歩を進めていく必要があるため、令和3年度以降を計画期間とする次期総合計画の策定に着手する。本県に思いを寄せる全ての皆さんと福島の新しいブランドデザイン、将来像を共有しながら、一人一人が幸せを実感できる県づくりに進めていく。

### 新たな総合計画の策定

**質疑** 新たな福島県総合計画の策定にどのように取り組んでいくのか。

**答弁** これまでの取組を検証し、住民の皆さん、市町村、県議

### 手話通訳導入を要請

定例会に先立つ6月12日、「福島県手話言語条例」等が今年4月から施行され共生社会の実現に向けた施策の実施が求められる。



手話通訳導入要請

### 2常任委員会が 現地調査を実施

7月1日、農林水産委員会(星公正委員長)、土木委員会(小林昭一委員長)が現地調査を行った。農林水産委員会は、小名浜魚市場と水産海洋研究センターの施設と機能について調査した。土木委員会は、来年の東京オリ



あづま球場を調査する土木委員会

られる中、広報委員会は障がい者に向けた議会広報の充実を図るため、インターネット議会で継への手話通訳の導入を議長に要請した。



水産海洋研究センターを調査する農林水産委員会

ンピックで野球・ソフトボール種目の会場となるあづま球場の改修工事と双葉町の前田川筋の災害復旧工事の状況を調査した。

会の意見をしっかりと聞くとともに、先端技術を産業や社会生活に取り入れて人間中心の社会を実現する「Society 5.0」の視点やSDGs(持続可能な開発目標)との整合性など、新たな時代の流れや社会情勢の変化も的確に捉えたものとなるよう、丁寧に検討を進めていく。

### 福島第二原発の廃炉

**質疑** 福島第二原発の廃炉に向けた知事の決意・考えを尋ねる。

**答弁** [引き続き、県民の強い思いである県内原発の全基廃炉の実現に向けて、福島県知事として、私が先頭に立ち、国や東京電力に対し、福島第二原発の廃炉を正式に決定し、その上で、廃炉に向けた取組を着実に進めるよう、様々な機会を捉え、強く求めていく。

### 児童・幼児等の 交通事故防止対策

**質疑** 県警察における児童・幼児等の交通事故防止対策について尋ねる。

**答弁** 交通指導取締りを強化するほか自動車は凶器になり得る危険なものであることを認識して運転するよう広報し、注意喚起を図っている。また、通学路及び園外活動コースの安全点検

### 県立高等学校の改革

**質疑** 高等学校改革懇談会で出された意見をどのように受け止めていくのか。

**答弁** [当該地域が抱える課題の解決に地域と連携して取り組む探究的な学びの導入や生徒の幅広い進路希望への対応などについて、統合対象校及び県教育委員会の教職員で構成される教育内容検討委員会において具体的な方策を検討し、懇談会に改めて報告するなど、魅力ある学校づくりに努めていく。

### 本県の未来を担う 子どもたちの教育

**質疑** 公立小中学校において、郷土の歴史に関する教育にどのように取り組んでいくのか。

**答弁** 子どもたちが先人の業績や伝統文化などの素晴らしさを実感することが大切であると考え、県内の偉人や文化などを紹介したうつくしま電子辞典を、今年度新たにタブレット端末やスマートフォン対応に更新し、授業や家庭学習で活用する機会を増やす。

### 議員勉強会を開催

7月3日、議員勉強会を開催し、株丹達也氏(全国都道府県議会議長会事務総長)を講師に迎え、少子高齢化・人口減少の深刻化が予想される中で必要な地方行政体制の在り方などについて理解を深めた。

### 政務活動費検討会を開催

6月26日、政務活動費検討会(小松山善継会長)を開き、平成30年度政務活動費収支報告書等について確認した。

### 会派構成の変更

6月19日、議員の辞職により会派構成が次のとおり変更になった。  
現員57人(自由民主党29人、民連合19人、日本共産党5人、公明党3人、ふくしま未来ネット1人)、欠員1人

## 〈広告〉



ふくしまからはじめよう。

## 可決した決議・国への意見書 (意見書は7月4日、国へ提出)

- 1 天皇陛下の御即位に関する賀詞奉呈決議
- 2 信頼される政府統計を目指して更なる統計改革を求める意見書
- 3 子どもたちの日常生活における安全確保対策の強化を求める意見書
- 4 児童虐待防止対策の更なる強化を求める意見書
- 5 「労働者協同組合法」の早期制定を求める意見書
- 6 WTO上級委員会報告書の結果を踏まえた日本産食品の安全性の発信強化等を求める意見書

## 採択した請願 (意見書、決議を求めるものを除く)

- 1 福島県の運転代行業に対する業務の適正化対策を早急に求めることについて

## 第19回福島県議会議員一般選挙について

- ◆ 第19回福島県議会議員一般選挙の告示日は10月31日、投票日は11月10日です。議員の定数、選挙区、選挙区別定数は、以下のとおりとなります。
- ◆ 議員総定数 58人(前回と同じ)
- ◆ 選挙区 19選挙区(前回と同じ)
- ◆ 選挙区別定数 郡山市選挙区 10人(1人増)  
喜多方市・耶麻郡選挙区 2人(1人減)  
※その他の選挙区は変更ありません。



なお、次回一般選挙にあたっては公職選挙法の特例を適用しています。詳しくは県議会ホームページをご覧ください。

## お知らせ

- ◆ 令和元年9月定例会は、9月9日(月)開会の予定です。
- ◆ ご意見・ご感想をお寄せください。  
TEL:(024)521-7608 FAX:(024)521-7965  
メール: gikaikoho@pref.fukushima.lg.jp
- ◆ 「福島県議会フェイスブック」、「福島県議会公式チャンネル(YouTube)」もご覧ください。
- ◆ 県議会インターネット中継(生中継・録画中継)はスマートフォンやタブレット端末からでもご覧いただけます。
- ◆ 詳しい情報は → [福島県議会](#) [検索](#)

